

事務事業名		三陸公民館施設管理・運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																							
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目																							
	施策名	14 生涯学習の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																						
	基本事業名	01 学習環境の充実		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成26 年度～)		01	10																						
根拠法令		大船渡市立公民館管理条例、同条例施行規則		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		05	03																						
所属	部課名	協働まちづくり部中央公民館		年度～ 年度		事務事業区分																							
	課長名	山岸 健悦郎		↓ ※全体計画欄の総投入量を記入		A 政策事業 B 施設整備																							
	係名	中央公民館	電話	0192-26-3166	C 施設管理 D 補助金等		E 一般(A～D以外)																						
	担当者	飯田 秀	内線	432																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
<ul style="list-style-type: none"> 三陸公民館の管理運営を行う事業。内容は、直営で行う業務と指定管理業務に分類される。 直営で行う主な業務は、①施設利用状況の集計業務②使用料の集計・収納業務③指定管理者との連絡調整等④施設設備の修繕、備品・消耗品等の購入関係業務。 指定管理業務は、①貸館業務(受付、使用許可、使用料徴収)②施設の維持管理等業務(管理人業務、清掃、各種設備の保守点検等)。 主な事業費は、指定管理者への委託料、光熱水費、修繕料、賃借料等。 				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
		延べ業務時間																											
人件費計(B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
施設利用状況の集計、使用料の集計・納入、設備修繕等の維持管理業務、指定管理者への業務委託		ア	三陸公民館利用件数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・全市民		名称	
・三陸公民館		単位	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		カ	人口
安全・快適に生涯学習活動が行える。		キ	三陸公民館施設面積
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ク	
生涯学習活動に適した環境を整えられる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	三陸公民館利用者数
		シ	施設不具合件数
		ス	施設不具合対応率

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					12,100
		その他	千円	83	1,204	200	200	200
		一般財源	千円	19,570	20,699	19,948	21,595	22,422
	事業費計(A)		千円	19,653	21,903	20,148	21,795	34,722
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400	400
		人件費計(B)	千円	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		トータルコスト(A)+(B)		千円	21,253	23,503	21,748	23,395
トータルコスト(A)+(B)		千円	21,253	23,503	21,748	23,395	36,322	
⑤ 活動指標		ア	件	261	764	300	300	300
⑥ 対象指標		カ	人	34,796	34,224	34,224	34,224	34,224
		キ	m ²	2,972.87	2,972.87	2,972.87	2,972.87	2,972.87
⑦ 成果指標		サ	人	4,523	7,998	6,000	6,000	6,000
		シ	件	3	10	4	4	4
		ス	%	67	40	75	75	75

事務事業ID	1061	事務事業名	三陸公民館施設管理・運営事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成23年の東日本大震災により被災した施設の復旧工事を経て、平成27年2月から貸館業務を再開した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成27年度から、指定管理者制度を導入し、貸館業務と施設の維持管理業務を委託している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	国道45号や三陸鉄道三陸駅に比較的近く、また越喜来地区中心部に位置していることから、三陸地区の生涯学習や集いの場として期待されている。越喜来地区公民館から3階会議室へのエアコン設備設置の要望が出ている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 施設を適切に管理することにより、安全かつ快適に学習できる環境を提供できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 市民の多様な学習ニーズに対応する環境を提供する上で、市の関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 全市民を対象としており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 中央公民館の事業実施や三陸地区文化祭の開催により一定程度の施設利用がなされているが、全般的に社会教育団体の利用者数が少ないことから、市芸術文化協会や地区公民館等と協議し、利用促進につなげる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 施設・設備の不具合が生じ、利用者が安全かつ快適に社会教育活動を行えなくなる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 利用状況を踏まえて休館日を設ける等、事業費の削減の余地がある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理者による管理運営を行っており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 施設の使用にあたっては、申込可能期間を設けるとともに、空きがあれば当日利用も可能としており、使用料についても規定により徴収しており、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	利用状況を調査の上で、利用の少ない曜日等の休館を検討していく。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 休館日等を検討するにあたっては、市芸術文化協会や地区公民館等の関係機関から理解を得る必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上	●																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 適切に運営管理されているが、今後の利用状況によっては、休館日を設けるなどして、管理費の削減について検討する必要がある。 施設の利活用について、施設内に事務局がある市芸術文化協会と連携してイベントの開催を模索する等、関係団体や地域と協議、検討を行い、利用促進を図る必要がある。
---	---